

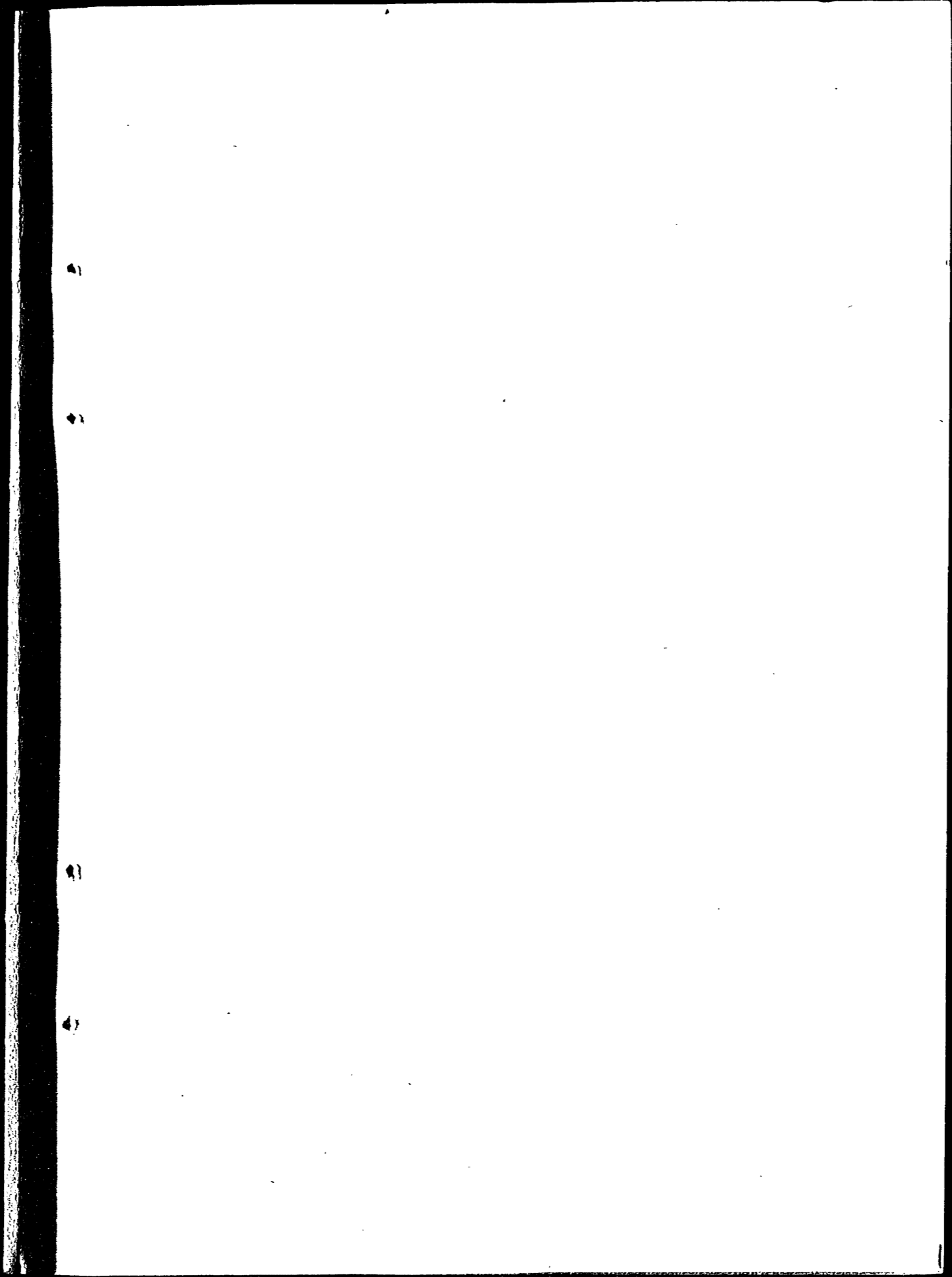


昭和十七年九月

商工省技術連絡会議

国立公文書館	
分類	(返) (青)
排架番号	3 A
	15
	51-8

5/28



昭和十七年九月

商工省技術連絡会議

秘

51-8

商工省審議室

国立公文書館	
分類	⑤ ④
	3 A
配架番号	15
	51-8

裏面白紙

秘

真面資源活用協議會構成案

第一協議會（錫ノ活用）

主 査	機械試験所長	日 高 健 一
幹 事	鑛産局鑛山課技師	伊 藤 俊 夫
	機械試験所技師	河 田 和 美
委 員	技術院第三部第一課長	高 瀬 考 次
	鑛産局總務課長	松 田 太 郎
	同 技師	中 山 照
	鑛産局鑛山課長	渡 邊 誠
	機械局産業機械課長	坂 駒 雄
	同 技師	鈴 木 平
	機械局動力機械課長	武 内 征 平
	同 技師	寺 澤 市 兵 衛
	精密機械統制會技術部長	備 藤 三 郎

3/9 高瀬考次技術連絡會議

裏面白紙

自動車統制會技術部長

三木吉平

車輛統制會

橋本新助

日本學術振興會

錫活用委員會委員長及幹事

大阪帝國大學工學部教授

田中晋輔

裏面白紙

三 第二協議會（マダガスカル原鐵活用）

主 査

機械試験所長

幹 事

鐵産局總務課

東京工業試験所第五部長

機械試験所技師

委 員

技術院第三部第一課長

鐵産局特殊鐵産課長

同 技師

鐵産局製鐵課長

同 技師

化學局無機課長

同 技師

機械局總務課長

同 技師

日 高 鏡 一

中 山 章

井 上 春 成

河 田 智 美

高 瀬 孝 次

鈴 木 龍 雄

山 中 龍 彌

足 立 泰 雄

淡 中 晴 一

楢 杜 正 太 郎

鈴 木 英 雄

石 坂 善 五 郎

菅 谷 靖

裏面白紙

裏面白紙

機被局産業機械課長

坂 駒 雄

同 技師

鈴 木 平

輕金屬統制會技術部長

ワグネンシウム懇話會長

同 委員又ハ幹事

東京帝國大學教授

石 田 四 郎

裏面白紙

第三協働會（アルミニウム原鐵活用）

主 査

東京工業試験所長

北 陽 市太郎

幹 事

鐵産局庶務課長

片 山 美太郎

東京工業試験所庶務課長

井 上 春 成

委 員

技術院第三部第一課長

高 瀬 孝 次

鐵産局庶務課長

餘 木 謙 次

同 購 託

内 野 正 夫

化學局庶務課長

梶 村 正太郎

同 統 帥

水 谷 徹

鐵産局庶務課長

山 直 人

重工業協働會

三 島 徳 七

日本學術振興會

同 幹 事

日本學術振興會第三十四小委員会、委員長

同 幹 事

裏面白紙

アルミニウム懇話会アルミ専門委員 井上春成
同 合金専門委員 石田四郎
東京帝國大學工學部教授 永井彰一郎

第四協議會（耐火物原料活用）

主査 東京工業試験所長

幹事 化學局無機課

東京工業試験所第三部長

委員

技術院第三部第三課長

鑛産局鑛山課長

鑛産局特殊鑛産課長

同 技師

地質調査所第二部長

同 技師

化學局無機課長

化學局合成課長

同 技師

燃料局第一部人石課長

同 技師

北 市太郎
和 泉 正光
伊 藤 亮

渡 邊 誠
鈴 木 義雄
片 山 英太郎

石 井 清彦
末 野 泰六
足 立 一

淡 中 晴一
稻 比 正太郎

足 立 英夫

土 方 武彦

岡 雅一

裏面白紙

裏面白紙

大阪工業試験所第三部長

綿谷政次郎

陶磁器試験所第一部長

佐松嶺造

鐵鋼統制會技術部長

岸村竹市

日本耐火物工業組合聯合會委員長

日本學術振興會第廿四小委員會委員長

黒田泰造

大日本窯業協會

永井彰一郎

東京工業大學教授

山内俊吉

第五協議會 (石炭活用)

主査
幹事
委員

燃料研究所長	燃料局石炭部炭業課技師	燃料研究所第三部長	技術院第三部長	燃料局石炭部炭業課長	同 炭務課長	同 鐵道局特殊鐵道課長	同 鐵鋼局製鐵課長	同 化學局無機課長	同
伴 義 定	中久木 茂	新 村 唯 治	多 田 四 郎	關 田 勳	鈴 木 義 雄	片 山 葵 太郎	足 立 泰 雄	太 田 慶 藏	本 吉 正 敏

裏面白紙

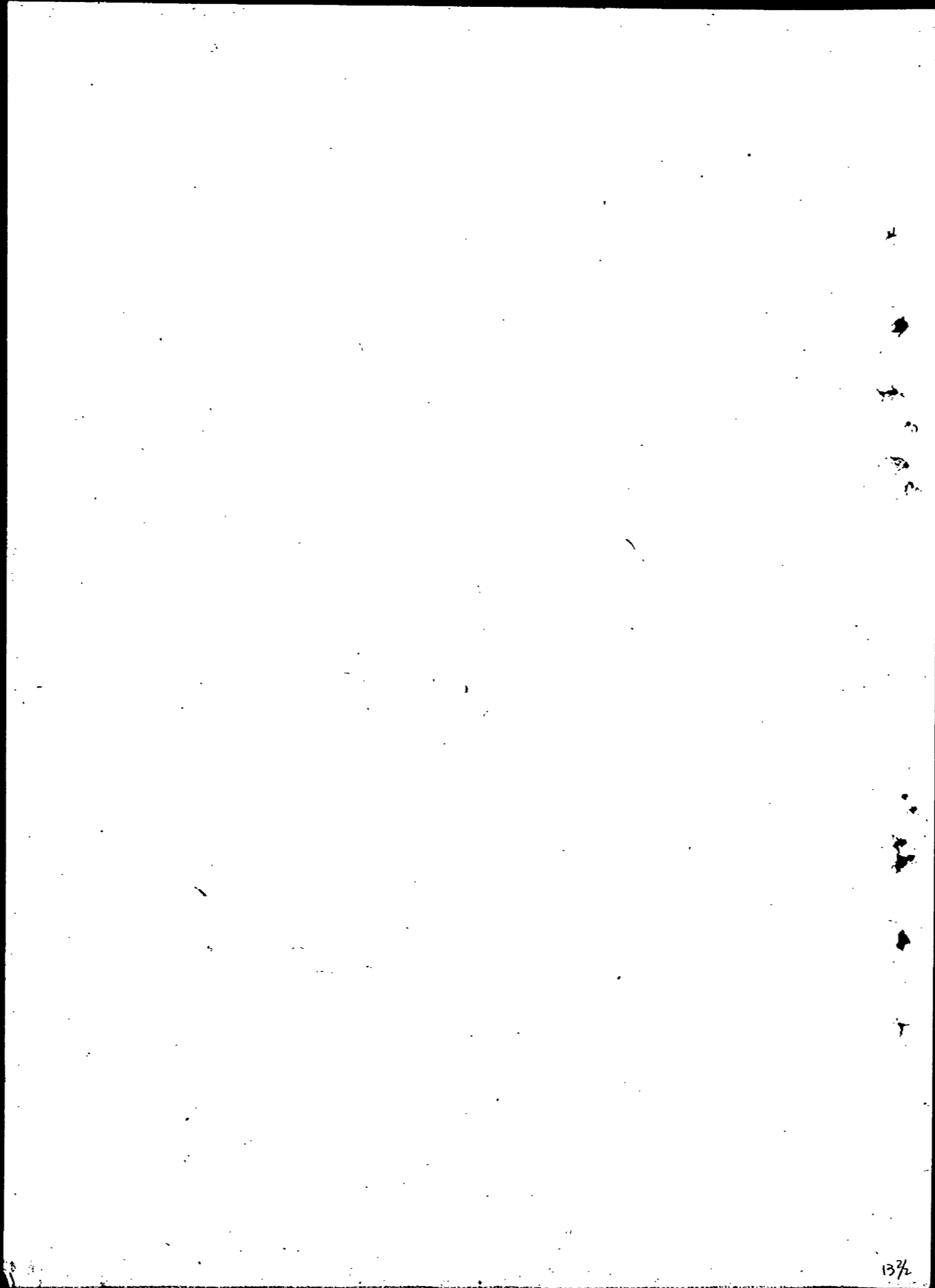
化學總創會技術部長	鐵鋼總創會技術部長	石炭總創會生産部長	同	燃料局第一部長 人造石油部長	同	化學局合成課長
			技師			
	井村竹市	山川良一	岡雅一	土方武彦	足立英夫	稻見億一

裏面白紙

第六協議會（石油活用）

主査	大阪工業試験所長	篠崎英之助
幹事	化学局有機課技師	北爪豊治
	大阪工業試験所第二部長	杉本俊三
委員	技術院第三部第三課長	岡田金治
	化学局有機課長	志村博
	同 合成課長	稻見慎一
	同 技師	足立義夫
	燃料局官房企畫課長	伊藤久雄
	同 技師	小村良鄰
	燃料局第一部人造石油課長	土方武彦
	同 技師	岡上雅一
	東京工業試験所第五部長	井上春成
	燃料研究所第三部長	
	石油統制會技術部長	
	化学統制會技術部長	
	日本石油振興會委員長	田中芳雄

裏面白紙



裏面白紙

13/2

第七協議會（油脂ノ活用）

主 査 東京工業試験所長

北 勝 市太郎

幹 事 化學局有機課技師

藤 田 彌之助

燃料局第一部人造石油課技師

岡 雅 一

委 員 東京工業試験所第二部長

平 野 茂

技術院第三部第 課長

岡 田 金 治

化學局有機課長

志 村 博

化學局合成課長

稻 見 愷 一

同 技師

足 立 英 夫

燃料局第一部人造石油課長

土 方 武 彦

同 油酸課長

高 津 彦 治

同 技師

武 藤 武

燃料局官房企畫課長

伊 藤 久 雄

同 技師

小 村 良 郷

裏面白紙

裏面白紙

大阪工業試験所囑託

東京工業試験所技師

油脂総制會技術部長

日本學術振興會委員會委員長

名古屋帝國大學教授

東京帝國大學教授

松本源

土屋知太郎

外山修之

桑田勉

八第八協議會（砂糖及澱粉ノ活用）

主 査 酒精研究所長

幹 事 燃料局酒精部製造課技師

化學局合成課技師

酒精研究所研究課長

技術局第三部第 課長

化學局有機課長

同 技師

同 合成課長

同 技師

燃料局第一節人造石油課長

同 技師

同 官房企業課長

同 技師

東京工業試験所第五部長

日本學術振興會 委員會委員長及幹事

井	小	伊	岡	土	足	稻	新	志	岡	務	足	本	黒
上	村	藤		方	立	見	井	村	田	臺	立	田	野
春	良	久	雅	武	英	懷	察		金	藏	英	紀	勤
成	鄰	雄	一	彦	夫	一	助	博	治	人	夫	元	六

裏面白紙

裏面白紙

第九協議會（纖維／活用）

主 査 纖維工業試験所長

幹 事 纖維局絹毛課技師

技師 纖維工業試験所第四部長

技師 技術院第三部長 課長

技師 纖維局絹毛課長

技師 同 技師

技師 化學局有機課長

技師 同 技師

技師 日本學術院振興會委員會委員長

技師 京都帝國大學教授

技師 東京帝國大學教授

吉 岡 直 富

岸 武 八

三 平 文

岡 田 金 治

近 藤 止 文

内 藤 邦 雄

志 村 博

北 爪 豐 治

片 桐

佐々木 達治郎

一〇 第十協議會（石油ノ活用）

主 査 燃料研究所長
幹 事 燃料局官房企畫課技師

委 員

化學局合成課 部長
燃料研究所第 部長
技術院第三部第 課長
燃料局官房企畫課長
同 第一一部油政課長
同 技師
同 第一一部人達石油課長
技師
化學局合成課長
東京工業試驗所第 部長
帝國燃料統制株式會社
東京工業大學教授

伴 小 加
義 真 藤
定 邦 吉

岡 田 金 治
伊 藤 久 雄
高 津 彦 治
遠 藤 一 郎
土 方 武 彦
岡 雅 一
稻 見 慎 一
內 田 正 次 郎
小 林 良 之 助

裏面白紙

極秘

試験所等試験研究等項中相互關聯性大ナルモノニ關スル措置案

一、要旨

(一七八二〇) 總務局

研究者及研究用資材ノ不足並ニ研究用機械設備ノ入手困難ノ愈々加重サルル反面、緊急解決ヲ要スル新研究事項ノ山積シ來レル現狀ニ於テ各機關有無相補ヒ以テ研究能率ヲ飛躍化センガタメニ先ヅ研究事項中相互關聯アルモノニ付キ適切ナル措置ヲ講ジ作業ノ重複ヲ避クルト共ニ現有スル智識、技術及機械設備ノ最高度ノ活用ヲ圖ルベキモノトス

二、措 置

(一) 相互關聯アル研究事項ニ付キ左ノ分類ヲ行ヒ夫々ニ關シ研究能率ノ躍進對策ヲ講ズルコト

- (1) 同一研究問題ナルモ研究過程ノ異ナレルモノ
- (2) 同一研究問題ニシテ研究方法ノ同一ナルモノ

裏面白紙

- (イ) 特ニ速急解決ヲ要スルモノ
- (ロ) 他ノ機關ニ於テ殆ド解決ヲ見又ハ解決ヲ見タルモノ
- (ハ) 差シ當リ速急ニ解決ヲ要セザルモノ
- (ニ) 研究問題同一ナラザルモ他機關ノ技術活用ノ要アルモノ
- (ホ) 他機關ニ於テ類似研究ノ進行中又ハ完了セルモノ
- (ヘ) 研究ノ完成上他機關ノ技術又ハ機械設備ヲ應用スベキモノ
- (ニ) 當該事項ニ關シ他機關ニ有力ナル經驗者アルモノ
- (二) 東京及大阪ニ於テ各々一回企業局長主催ニ依リ關係局長、關係機關長、部長及技師ニ依ル商工省研究推進會議ヲ開キ(一)ニ關スル對策ヲ樹立スルコト
- (三) 相互關係アル研究事項ヲ擔當セル研究者ハ夫々ノ研究室ニ於テ少クトモ年二回當該事項ニ關シ相互ニ檢討ヲ行フコト
- (四) 關係職員ハ(一)企業局長(二)企業局長(三)ニ關スル連絡及檢討狀況並ニ對策實施狀況ヲ遲滞ナク商工省技術會議ニ報告スルコト

裏面白紙

(四) 研究事項及目録ニ變更アリタル場合ハ關係該員ハ遅滞ナク商工省
企業局長
技術會議ニ報告スルコト

(六) 企業局長ハ必要ニ應ジ擔當局長ト協議ノ上研究事項、研究目録又
ハ研究方法ノ變更ヲ命スルコトヲ得ルモノトスルコト

極秘

商工省關係特許權等ノ活用ニ關スル措置案

一七六二〇

總務局

一、要旨

我國産業技術ノ向上對策ノ一重要措置トシテ特許等技術ノ公開又ハ交流ヲ奨メスベク敵産特許ニ關シテハ既ニ其ノ措置ニ關シ閣議決定ヲ見ル所ナリ。

本問題ハタゞニ敵産特許ノミニ止マラズ國內特許等技術ニ關シ檢討ヲ加ヘラルベキハ豫想サルル所ニシテ商工省トシテハ平先シテ所有ニ係ル特許等ニ關シ適切ナル措置ヲ講ズルニ要ス。後列各案ノ活用ニ關シ、積極的ニ協力スルベシト

- 一、既得シタル特許權等ハ之ガ取消ヲ行ハザルコト
- 二、新シキ發明アリタル場合ハ在リ理由ニ依リ特許權等ヲ獲得スルコト
- 三、商工省關係特許權ハ原則トシテ統制會ヲ通ジ之ヲ實施スルコト

右ニ關シテハ統制會技術部又ハ統制會技術部長會議ヲ活用スルコト
右案ニ關シテハ統制會技術部又ハ統制會技術部長會議ヲ活用スルコト

裏面白紙

四、特許公署未済ナルモ既ニ特許申請中ニシテ急遽商標ノ必懸ナルモノハ本館ニ伺ノ上契約ニ依リ之ヲ行フコト

五、商工省試験院研究試驗ニ於テ發明・發見等ニ依リ特ニ本邦技術向上ニ對シ貢獻シタルトキハ其ノ個人又ハ團體ニ對シ商工大臣ヨリ懸狀ヲ授與シ更ニ適當ナル褒賞措置ヲ講ズルコト

六、特許公署未済ナルモ既ニ特許申請中ニシテ急遽商標ノ必懸ナルモノハ本館ニ伺ノ上契約ニ依リ之ヲ行フコト

七、商工省試験院研究試驗ニ於テ發明・發見等ニ依リ特ニ本邦技術向上ニ對シ貢獻シタルトキハ其ノ個人又ハ團體ニ對シ商工大臣ヨリ懸狀ヲ授與シ更ニ適當ナル褒賞措置ヲ講ズルコト

八、特許公署未済ナルモ既ニ特許申請中ニシテ急遽商標ノ必懸ナルモノハ本館ニ伺ノ上契約ニ依リ之ヲ行フコト

九、商工省試験院研究試驗ニ於テ發明・發見等ニ依リ特ニ本邦技術向上ニ對シ貢獻シタルトキハ其ノ個人又ハ團體ニ對シ商工大臣ヨリ懸狀ヲ授與シ更ニ適當ナル褒賞措置ヲ講ズルコト

十、特許公署未済ナルモ既ニ特許申請中ニシテ急遽商標ノ必懸ナルモノハ本館ニ伺ノ上契約ニ依リ之ヲ行フコト

めくれず

裏面白紙

商工省發明發見等表彰制度要綱 (案)

商工省試験研究機關ニ於テ發明、發見等ニ依リ特ニ本邦技術向上ニ對シ貢獻シタルトキ其ノ個人又ハ場所ヲ表彰スルノ制度ヲ左記ニ依リ實施スルコト

記

一 商工省ニ表彰委員會ヲ設ケ表彰スベキ發明、發見等ヲ審査決定スルコト

表彰委員會ハ商工次官ヲ委員長トシ左記委員ヲ以テ構成スルモノトスルコト

官房各課長

總務局總務課長

勳任技師 二名

試験所長 二名

二 表彰スベキ發明、發見等ニ付テハ其ノ個人又ハ場所ニ對シ
商工大臣ヨリ賞狀ヲ授與スルモノトスルコト

三 表彰委員會ニ於テ適當ト認メタル場合ハ賞狀ニ添へ賞品又
ハ賞金ヲ授與スルコトアルモノトスルコト

四 本措置實施ノ爲褒賞規程ヲ制定スルコト
備考

- (1) 財團法人商工協會内ニ寄附金ニ依リ發明、發見獎勵基金
ヲ設置シ右基金ヨリ副賞ヲ授與セシムル様措置スルコト
- (2) 特別ナル場合ハ總理大臣賞ノ授與等内閣ニ於ケル褒賞ノ
斡旋ヲナスコト



科學技術審議會設置ニ關スル件（昭一七八二〇）

技 術 院

第一 方針

科學技術新体制確立要綱（昭和十六年五月廿七日閣議決定）ノ趣旨ニ則リ科學技術ニ關スル國策ノ綜合企畫竝ニ科學技術總力發揮ノ完壁ヲ期センガ爲左記要領ニ依リ科學技術審議會ヲ設置ス

第二 要 領

- 一、科學技術審議會ハ内閣總理大臣ノ監督ニ屬シ關係各大臣ノ諮問ニ應ジテ重要國策ノ科學技術的檢討竝ニ科學技術ニ關スル重要事項ヲ調査審議スルコト
- 科學技術審議會ハ前項ノ事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得ルコト
- 二、科學技術審議會ハ總裁一人、副總裁一人及委員二〇〇人以内ヲ以テ之ヲ組織スルコト

裏面白紙

前項定員ノ外必要アル場合ニ於テハ臨時委員ヲ置クコトヲ得ルコト

三 總裁ハ内閣總理大臣ヲ以テ之ニ充ツルコト

副總裁ハ技術院總裁ヲ以テ之ニ充ツルコト

委員及臨時委員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學

識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズルコト

委員ノ任期ハ二年トスルコト但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任

期中之ヲ解任スルコトヲ得ルコト

四 總裁ハ會務ヲ總運スルコト

副總裁ハ總裁ヲ補佐シ總裁事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スルコト

五 科學技術審議會ニ部會ヲ置クコト

部會ハ科學技術ノ各部門ニ依リ之ヲ設ケ其ノ部門ニ屬スル事項ヲ

調査審議スルコト

部會ノ種類ハ總裁之ヲ定ムルコト

部會ニ所屬スベキ委員及臨時委員ハ總裁之ヲ指名スルコト

部會ニ部會長ヲ置キ總裁ノ指名スル委員ヲ以テ之ニ充ツルコト

六 部會ニ屬スル専門ノ事項ヲ調査セシムル爲専門委員並ニ専門部會

ヲ置クコトヲ得ルコト

専門委員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各縣高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズルコト

七 總裁ニ於テ必要アリト認ムルトキハ二以上ノ部會ノ合同會議ヲ開催スルコトヲ得ルコト

八 總裁ニ於テ必要アリト認ムル場合ハ委員會ヲ置クコトヲ得ルコト

委員會ハ委員、臨時委員及専門委員ヲ以テ之ヲ組織スルコト

委員會ニ所屬スベキ委員、臨時委員及専門委員ハ總裁之ヲ指名スルコト

委員會ニ委員長ヲ置キ總裁ノ指名スル委員又ハ臨時委員ヲ以テ之ニ充ツルコト

九、總裁ニ於テ適當ト認メタル場合ハ部會、專門部會又ハ委員會ノ決

議ヲ以テ審議會ノ決議ト爲スコトヲ得ルコト

一〇、科學技術審議會ノ議事ニ關スル規則ハ内閣總理大臣ヲ定ムルコト

一一、科學技術審議會ニ幹事長及幹事ヲ置クコト

幹事長ハ技術院次長ヲ以テ之ニ充ツルコト

幹事ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各縣高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズルコト

幹事長及幹事ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ルコト

一二、科學技術審議會ニ書記ヲ置キ内閣ニ於テ之ヲ命ズルコト

書記ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事スルコト

一三、科學技術審議會ハ官制ニ依リ設置スルモノトスルコト

附記

科學技術審議會ハ之ヲ停止スルコト

(以上)

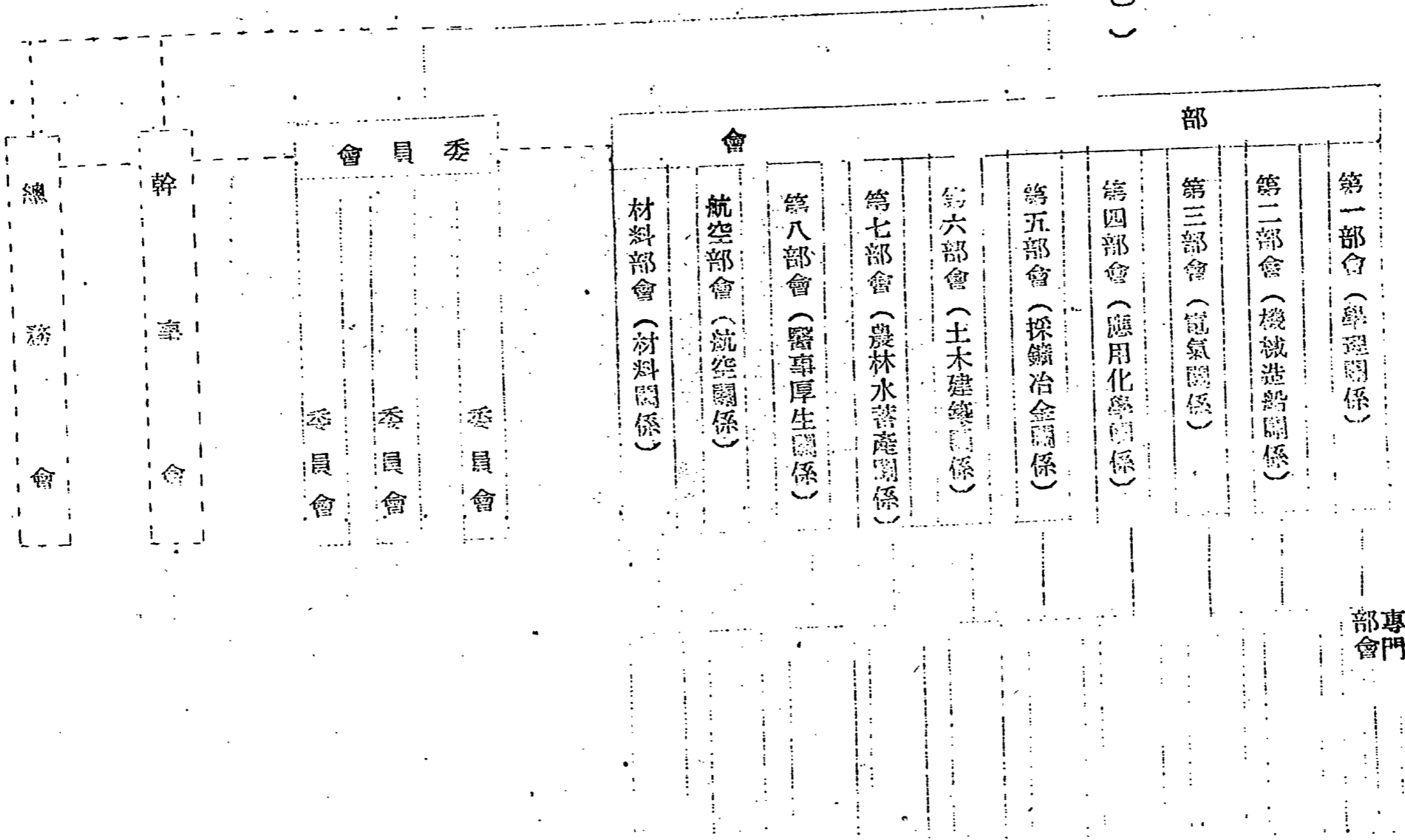
(別紙)

科學技術審議會

機構圖

(一七八二〇)

總裁
副總裁



裏面白紙

統制會関